

眼形成眼窩涙道外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	退行性下眼瞼内反症手術後の涙点の位置と涙液量の変化
研究機関名及び 研究機関の長 (試料・情報の管理 責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	眼形成・眼窩・涙道外科 (職名) 准教授 (氏名) 高橋靖弘
試料・情報の利用目的 及び利用方法	〔利用目的〕 退行性下眼瞼内反症手術では、下眼瞼を外側に牽引する処置を行います。その際に、涙の排水口である涙点を外側に移動するため、涙液排出に影響を与える可能性があります。本研究は、退行性下眼瞼内反症手術後に涙点の位置と涙液量が変化するかを調べることを目的としています。 〔対象となる患者さん〕 2017年10月から2022年1月までに退行性下眼瞼内反症に対する手術を受けた患者さん 〔研究期間〕 研究実施承認日 ~ 2023年6月30日 〔利用方法〕 診療情報の収集目的で、カルテを利用します。研究の方法に関する資料を入手・閲覧を希望する場合は、下記問い合わせ先まで申し出てください。
利用又は提供する試料・情報の項目	情報：年齢、性別、左右、術式、前眼部写真等
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	非該当
提供する試料・情報の取得の方法	非該当
提供する試料・情報を用いる研究に係る研究機関名・研究責任者名	非該当
利用する者の範囲	非該当

試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2023年3月31日までに電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 眼形成・眼窩・涙道外科 担当者:(職名)准教授 (氏名)高橋靖弘 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311(内線 12314)